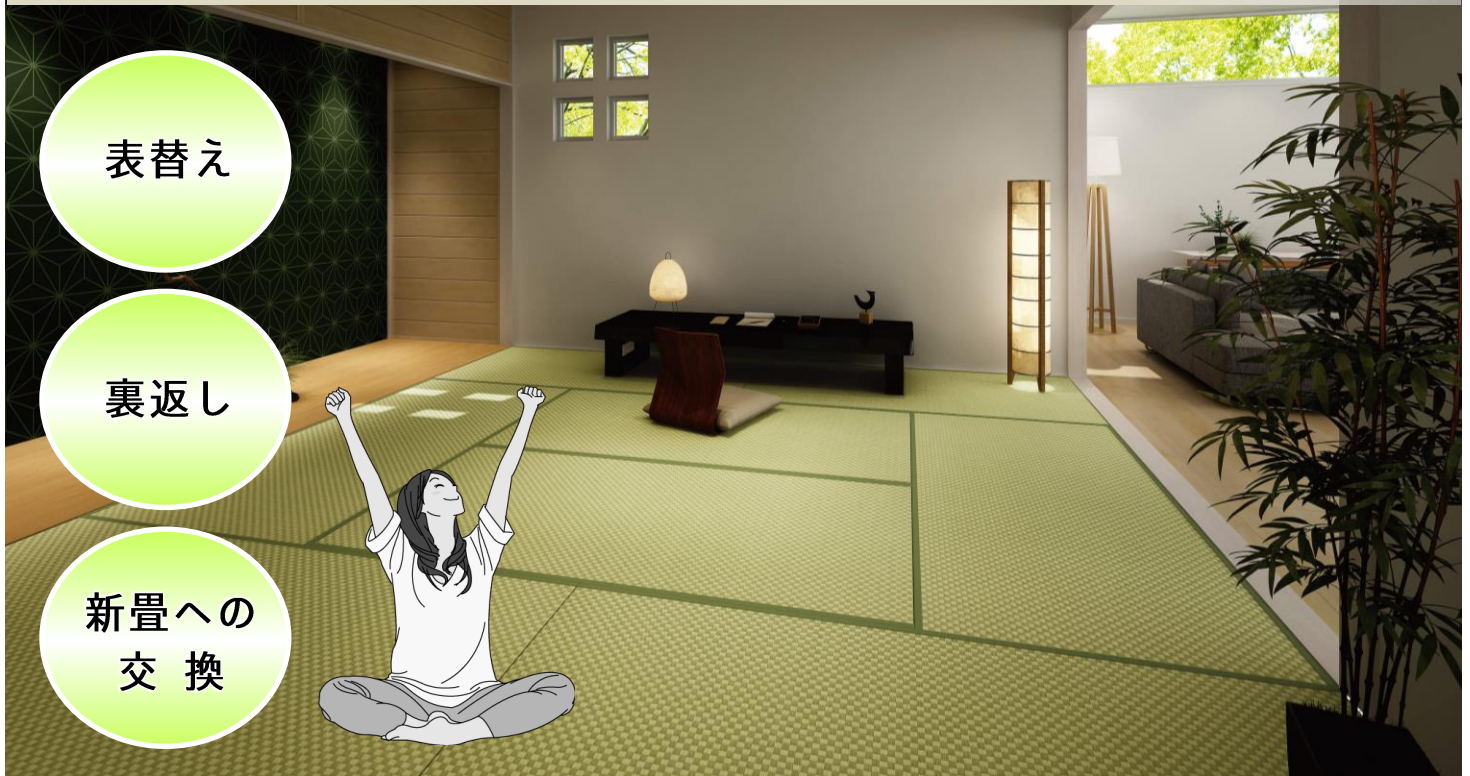


## 色あせしにくい機械すき和紙でできた「和紙畳」で心地良い空間に



畳の表替えとはその名の通り、畳の表側を替えることです。畳は畳床、畳表、そして畳縁からできています。畳床にイ草でできた畳表をかぶせ、畳縁を縫い合わせます。畳表は裏、表の両方が使えるようにできていますが、畳表替えとはこの畳表を替えることです。また畳床を含めて全部新しくすることを新畳と言います。前回の新畳から10年以上経過すると新畳を考える時期だと一般的には言われています。

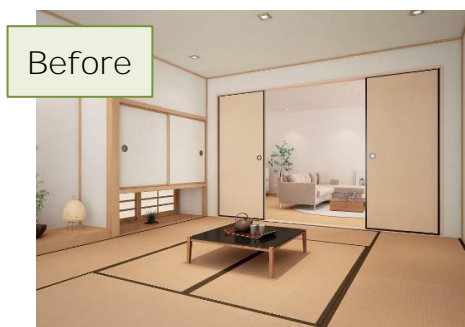
### ◎裏返し

新品の畳を使用して3年から5年程度経過すると、畳表が日に焼けたり擦り切れて傷んできたりします。畳表は両面を使うことができるので、畳表を反対にひっくり返して張り直すことでキレイな畳にリフレッシュすることができます。5年以上経過した畳表は裏面が枯れたようになっていたり、部分的な変色がある場合があります。その場合は裏返しはおススメできません。

### ◎表替え

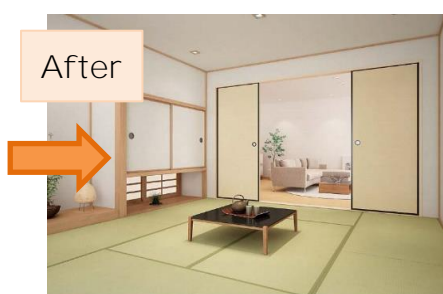
畳の表面が擦り切れたりササクレてきたり、黒ずんだ汚れが全体的に出てきたら表替えの時期です。畳表面のイ草が新品になると、イ草の爽やかな気持ちの良い香りがお部屋に広がります。新しいイ草ほどお部屋の空気中循環の効果が高く、とても健康的です。

ただし畳床までは交換しませんので、踏み心地は大きく変わらない点は注意が必要です。畳がへたって凹んできた、畳の上を歩く時にへこむ感覚がある場合は、新畳への交換が必要です。



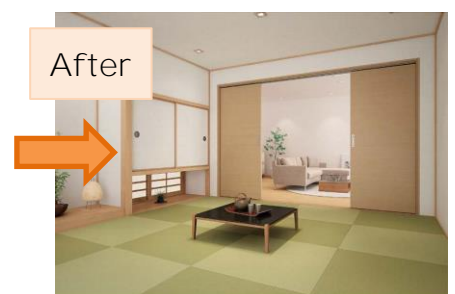
Before

昔ながらの障子や襖のついた  
落ち着いた純和風の6畳間



After

一畳へりあり／和襖  
畳のへりを畳と同色に替える  
だけで和の印象がやわらぎます



After

半畳へりなし／洋風引戸  
襖を木肌感のある洋風引戸に  
替えるとナチュラルな印象に